



心ね

「コロナとの共存生活へ」

公益社団法人 倉敷市民間保育所協議会 副会長 赤澤 美佐子

民間保育所協議会副会長として、二期目、三年半が過ぎ、情勢がずいぶん変化したように思います。安倍元総理が銃弾に倒れ、その前日には犯人の目撃情報が岡山であったということも記憶に新しいことでしょう。

言われることもあり、発熱後すぐに連絡させていただいてるわけではなく、お茶を飲んだり、少し安静にしたりして様子を見て連絡させていただいています。おうちに帰ると、家族の中で安心して下がっていることも考えられます。お家でゆったりと過ごして次の日の糧としていただきたいと思います。

を感ずるようです。保護者の中にも、職員や子ども達のマスクなしの生活に不安を感じている方もおられます。保育園での生活や行事も、マスクや消毒等、健康管理に気を配りながら進めていきたいと思っております。

土曜日保育は職員のみ平日に取らないためにも、協力をお願いしたいところですが、平日にお休みが取れている方は、子ども達とお休みして片付け、買い物、お出掛けなどふれあう機会を持つというのはいかがでしょうか？

コロナウイルスの重症化リスクが少ないものに置き換わりつつあるため、発症者の増減が激しく変化するも、以前の生活に戻す方向に世界が動いています。ただし、インフルエンザ以上の扱いにはなってくるようです。(七月末の状態)

しかし、コロナに慣れた昨今、今まで多く聞かれていた病気が高い熱やひどい咳、しつこい下痢等と、症状が悪化する場合も増え、園として敏感になって連絡させていただくため、微熱続きで休むことが多い、帰ったら熱が下がっている、と、

開けづらくなっている児がいると、指摘されました。夏場や運動の時は外でも、なかなかすべできない外すことは外していても、職員は激しく動いていてもマスクを外すことに抵抗

「お兄ちゃん(お姉ちゃん)とニコニコタイム」を作られています。買い物に出かけて、物の名前、色、数などそこで知らせているようです。お店の中を走り回るのでなく、近くまで一緒に手をつないでいき、「〇〇を二個とってきて、赤いほうがお

民間保育所協議会副会長として、二期目、三年半が過ぎ、情勢がずいぶん変化したように思います。安倍元総理が銃弾に倒れ、その前日には犯人の目撃情報が岡山であったということも記憶に新しいことでしょう。

言われることもあり、発熱後すぐに連絡させていただいてるわけではなく、お茶を飲んだり、少し安静にしたりして様子を見て連絡させていただいています。おうちに帰ると、家族の中で安心して下がっていることも考えられます。お家でゆったりと過ごして次の日の糧としていただきたいと思います。

を感ずるようです。保護者の中にも、職員や子ども達のマスクなしの生活に不安を感じている方もおられます。保育園での生活や行事も、マスクや消毒等、健康管理に気を配りながら進めていきたいと思っております。

土曜日保育は職員のみ平日に取らないためにも、協力をお願いしたいところですが、平日にお休みが取れている方は、子ども達とお休みして片付け、買い物、お出掛けなどふれあう機会を持つというのはいかがでしょうか？



8月初旬現在、新型コロナウイルス第7波が猛威をふるっています。保育園、こども園の職員の皆様においては大変なご苦労をされている事と想います。今は自粛一辺倒から先生方の創意工夫によって年中行事等出来るだけ行われています。保育士の先生方には感謝しかありません。ありがとうございます。

昨日、コロナ禍の中で孤独と健康の関係について、注目されています。喫煙や過度の飲酒などより健康リスクがあるというものです。勿論これは高齢者が対象の統計と思われ、保育関係者の周辺ではあまり関係がなさそうですが、「孤独感」とするのでしょうか？

私の勤める園は小さな港町ですが、昔は子どもも、それなりに多く保育園もにぎやかでした。降園の時には担任の先生の周りに何人ものお母さんが囲んでお話をしている光景が当たり前でした。即席の子育て支援センターの出来上がりです。先生から聞く我が子の様子、保護者から先生へ質問、あるいは保護者同士の子育ての話(それ以外も多岐にわたる)等々子育て世代同士で「コミュニケーション」が密にあったように思います。今はそれはありません。ほとんどの保護者さんは車での送迎です。子どもから目を離さないようお願いしています。加えて今はコロナ禍もあり保育士も必要なこと以外は時間を割かないように努めなければなりません。子育ては喜びも多岐にわたりますが、その中で「孤独感」を抱いている保護者の方もいらっしゃると思います。子どもにとっても良い影響はないでしょう。先生方はそういった保護者さんのフォローもしている事でしょう。今日も先生たちはマスクをして、こまめに消毒をして、一生懸命保育をしています。これから先どうなるかわかりませんが、倉敷市と保育施設が協力し合い、子育て支援の第一線として「今」の形に即した保育を作っていきます。

ちまた

昭和44年より天城保育園の園長として長年にわたり勤務され、法人理事長としては、「子ども天国」の理念の下、地域すべての子どもたちのため、地域子育て支援センターや学童保育、障がい者施設の設立、運営を行われました。また様々な知識と経験により、「豊かで伸び伸びとした心を育てる」との思いから、地域に根差した多数の行事を開催するなど、地域のためにも貢献されました。当協議会においては、昭和55～56年度、昭和59～60年度の2期4年にわたり会長に就任されるなど、会の発展に多大なご尽力を賜りました。心よりご冥福をお祈りいたします。

新任園長先生のご紹介

●正会員園 新園長



新田保育園 笠原 聡美先生
「子ども保護者も職員も共に育つ新田保育園」を保育理念に、集団生活や家庭的な雰囲気の中での個々を大切にしながら、子ども達が毎日楽しく過ごせるようにしていきたいと思っております。宜しくお願い致します。



ちゃや保育園 小西 奈美先生
4月より、ちゃや保育園の園長に就任いたしました。豊かな自然環境の中で、子どもたちや職員に笑顔があふれる安心・安全な子育ての場となるように努めてまいります。保護者や地域の皆様のお力をかりながら、職員一同頑張っております。よろしくお願いいたします。



幼保連携型認定こども園 小ざくら保育園 佐守 美雪先生
五感を通して心と身体の育ちをばぐくみ、子ども達の「やってみたい」「できそう」「できた!」が実現できる保育を目指しています。保護者の皆様に安心してお子様を預けていただけるよう全職員で精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。



小ざくら乳児保育園 田口 恭子先生
子ども達に寄り添いきめ細やかな配慮による、優しさや思いやり、自信を育てる保育や、保護者への子育て応援をしていきます。未熟者ではありますが、これまでの諸経験を活かして頑張りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



聖和保育園 塩崎 幸先生
この度、聖和保育園の園長に就任いたしました。「やさしい心、ゆるす心、感謝する心」を養い、心身ともに健康で感性豊かな子どもを育てていきたいと思っております。子ども、保護者、職員皆が、笑顔で元気に過ごせるよう努めてまいりますので、今後ともご指導のほど、よろしくお願いいたします。



浦田保育園 森 和弘先生
平成22年4月から副園長として12年間勤務しておりましたが、令和4年4月から園長と副園長が交代しました。子ども一人一人に細やかな愛情を注ぎ、地域に根差した園であり続けたいと思っております。よろしくお願いいたします。



しおかぜ認定こども園 貞木 貴之先生
吹上保育園の頃よりお世話なり、この度しおかぜ認定こども園の園長に就任いたしました。子どもたちの笑顔の為に、保護者の方々に寄り添いながら頑張ります。よろしくお願いいたします。

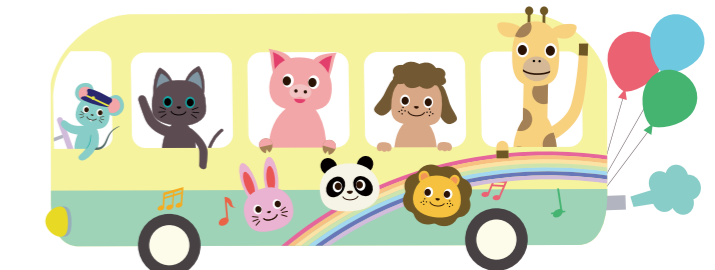


いずみ乙島保育園 難波 弘子先生
令和4年4月より園長に就任いたしました。子ども達の元気と笑顔とパワーに励まされ感謝の毎日です。保育園の伝統を守りながら子ども達一人ひとりに寄り添う保育、子ども達の保育園が好きという気持ちを大切に、保護者や地域の方々に信頼され、愛される保育園を目指して職員一丸となって知恵と工夫を出し合いながら努力してまいります。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

●準会員園 新園長



真備かなりや第三小規模保育園 片岡 美紀先生
令和4年4月より開園し、園長に就任いたしました。子どもたちが心も体も健やかに、また、保護者の皆様が安心して預けられる保育園になるよう職員とともに頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



- ▶ 新規加入園 ● 準会員園…真備かなりや第三小規模保育園 (R4.4.1~)
- ▶ 園名等変更 ● 倉敷地区(新園名)小谷かなりや認定こども園(保育所型)←(旧園名)小谷かなりや保育園(新園名)堀南かなりや認定こども園(保育所型)←(旧園名)小谷かなりや第二保育園(新園名)西田認定こども園(保育所型)←(旧園名)西田保育園
- 玉島地区(新園名)八幡認定こども園(幼保連携型)←(旧園名)八幡保育園

訃報



中野 敬士 先生
社会福祉法人 中野社会福祉協会 天城保育園 元理事長・園長 令和4年7月29日 逝去 (79歳)

昭和44年より天城保育園の園長として長年にわたり勤務され、法人理事長としては、「子ども天国」の理念の下、地域すべての子どもたちのため、地域子育て支援センターや学童保育、障がい者施設の設立、運営を行われました。また様々な知識と経験により、「豊かで伸び伸びとした心を育てる」との思いから、地域に根差した多数の行事を開催するなど、地域のためにも貢献されました。当協議会においては、昭和55～56年度、昭和59～60年度の2期4年にわたり会長に就任されるなど、会の発展に多大なご尽力を賜りました。心よりご冥福をお祈りいたします。

お子さんのこと、気になったら気軽に相談してみよう。

子どもの接し方に戸惑ったり、子育てがうまくいかず悩むことはありませんか？
また、お子さんの発達を指摘されたりすると、親はとても不安になりますね。
専門機関に相談することで、お子さんの特性を理解でき、親自身の不安も減り、
子どもを伸ばす関わりができるようになりますよ。



医療機関 (倉敷市には、発達検査と診断ができるところが約8か所あります)

必要な検査(運動能力評価、発達検査・知能検査、感覚検査、社会性検査、言語発達検査、構音検査)などを通して子どもの能力を評価します。医療機関によってはその評価に基づいて、理学療法、作業療法、言語聴覚療法を行います。



相談支援事業所 (倉敷市には約20か所あります)

障がいのある人が日常生活や社会生活を営む上で、困ったことやわからないことなどがあった場合に、相談することができる場所です。
また、障がい福祉サービス利用に必要な利用計画の作成なども行っています。



お子さんの特性に合っている施設を探してくれます。

Point

必要に応じて
情報提供

受診結果により
紹介

専門的な支援を
受けるまでの流れ

紹介

ゆめぱる

(倉敷市総合療育相談センター)

- お子さんの発達に関する悩みなど、相談員が一人一人のお話をしっかり聞いて、解決のお手伝いをします。
- 児童発達支援(療育)や日中一時支援など、必要な福祉サービスの利用をお手伝いします。
- 臨床心理士などによる専門相談も実施しています。

★★相談日時(開所日)★★

	実施曜日	時間
一般相談(予約制となります)	火曜日～土曜日	9:00～17:00
一般相談の中で必要に応じて、臨床心理士との相談日を設定します。(1時間程度)		

まずは、お問い合わせください
～ファックス・メールでもどうぞ～

連絡先

電話：086-434-9882 FAX：086-434-9883

E-Mail：ksrsc@city.kurashiki.okayama.jp

ホームページ ゆめぱる

検索

Zoomオンライン
相談も始めました



連携 お子さんの生活状況や支援内容の情報交換・共有をしています。

療育施設

(※通所支援型と入所支援型があり、どちらも福祉型と医療型があります。この紙面では通所支援型・福祉型を取り上げています。)

その子にあった適切な関わり方で、得意なことを伸ばし、苦手を克服していくことができます。療育は早く始めた方がその後の成長や自立につながりやすいと言われています。

- **児童発達支援**
未就学児に対し、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練などを行います。
- **放課後デイサービス**
就学児童に、生活能力の向上のために必要な訓練や地域との交流などを行います。
- **保育所等訪問支援**
専門職員が保育園、こども園、幼稚園や小学校などを訪問して、集団での生活に必要な訓練や職員へのアドバイスを行います。

保育園・こども園

お子さんの発達状況や集団での様子を観察しながら、保護者と一緒に、より良い関わり方を考えていきます。発達アドバイザー事業(※)を実施している園もあります。

(※)児童発達心理等の専門家が来園し、お子さんの様子を見て、効果的な関わり方のアドバイスをしてくれます。気になる方は園にお問い合わせください。

集団での姿や友だちとの関わりはお子さんの発達を理解する大切なポイントです。家庭だけでは分かりにくいので、園としっかり情報交換することが大事ですね。

Point

ゆめぱる ってこんなところ



相談室の様子

親だけでも、子ども同伴でも、相談に行くことができます。



かがやき手帳

check!

手帳には、子どもの育ちを記録でき、発達を客観的に見ることができます。手帳だけをもらうこともできます。

保育園、こども園に通いながら必要な支援が受けられる 児童発達支援(療育)施設はこんなところ

個別療育…子どもとスタッフが1対1で行うものです。集団での療育が苦手な場合や、1人での療育が適している場合に行います。



集団療育…少人数のグループでゲームをしたり、遊んだりすることによって集団の中でのルールやコミュニケーション力、社会性を身につけます。工作や、音楽遊び、戸外遊びなど、様々な活動を通して友だちとの適切な距離感などを学びます。

